

## 令和元年度第2回学術集会プログラム検討委員会

日時：令和2年1月17日（木）19時～20時

場所：神戸ポートピアホテル南館5階

出席：松山幸弘（担当理事）、渡辺雅彦（委員長）、島田洋一、中村博亮、波呂浩孝、根尾昌志、中村雅也、高相晶士、永島英樹、稲見聡、大和雄、中野敦之、八木満

欠席：紺野慎一、種市洋

### 議事

#### 承認事項

1. 前会議議事録の確認（メールでの議事録確認）
2. 理事会報告（松山担当理事）

学術集会の予算書と決算に差があり、予算が形骸化している。日整会の方針を参考に、予算と決算が合うよう、プログラム委員会でも早めの準備を検討し、コンベンション企業にはより正確な予算案を求めていく。また、今後は

過去の学術集会の予算と決算を比較し、適正な予算と健全な学会運営を目指していく。

3. 第 48 回学術集会会計決算報告（波呂浩孝会長）（資料 第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術総会 決算案）

第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術総会の収支報告があった。決算報告は全会一致で承認された。

報告事項

1. 第 49 回学術集会準備状況報告（松山幸弘次期会長）（資料）

2020 年 4 月 16 日～18 日に名古屋国際会議場で開催予定である。スライド、ポスターは全て英語表記とし、海外から 41 名を招聘した（欧米 8、アジア 33）。文化講演はヤマハ株式会社社長である中田卓也氏に、特別講演は鎧邦芳先生、富田勝郎先生に依頼した。教育研修講演 14、スポンサードセミナー 40、シンポジウム 3 テーマ用意し、ビデオセッションを Master's instruction として 16 演者に依頼した。すべり症のディベートを藤原靖先生、海渡貴司先生に依頼した。International case discussion として 16 演題を企画した。

一般公募は 1432 演題（海外 104 演題）で 1067 演題採択し、採択率 74,5% であった。晚餐会は 4 月 15 日にマリオットホテルで、全員懇親会は白鳥ホールで予定している。

## 2. 第 50 回学術集会準備状況報告（根尾昌志次々期会長）(資料)

2021 年 4 月 21 日～24 日に国立京都国際会館で開催予定である。テーマは「レジェンドを知る、レジェンドを創る」とした。第 50 回の記念大会であり、日本のオリジナリティーを見直す学会にする。特別企画として歴代 50 人の会長の肩書、名前、顔写真、テーマ、業績をスクリーン展示予定である。基調会長は小野村敏信先生に、文化講演を吉野彰氏、特別講演を清水敬親先生、玉置哲也先生、高橋和久先生に依頼している。日本人のオリジナリティーを見直す学会になるため、外人招聘、英語演題は第 49 回より少なめになる予定。参加費事前登録は継続して行う。島田委員から 50 回記念に関して、地元メディアや共同通信を利用した社会への働きかけの重要性が提案された。

3. 第 52 回学術集会準備状況報告（稲見聡（種市洋次々々々期会長代理））

学術集会札幌市教育文化会館、ロイトン札幌で開催予定である。運営会社は日本コンベンションとコングレのいずれかで見積もりを検討中である。

4. 第 53 回学術集会準備状況報告（渡辺雅彦次々々々々期会長）

2024 年 4 月 18 日～20 日にパシフィコ横浜で開催予定である。

5. 次回委員会の開催について

今回は第 53 回日整会骨・軟部腫瘍学術集会（札幌市）の開催に合わせて、2020 年 7 月 16 日の朝 7 時から行う。

6. その他

5 年先の学会運営状況は流動的で不確かなため、予算案作成は 3 年前に始めるのが妥当との意見が島田委員から出された。

以上